

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170501316		
法人名	社会福祉法人 愛全会		
事業所名	グループホーム てんと虫の家		
所在地	札幌市南区川沿14条2丁目3-23		
自己評価作成日	平成22年11月30日	評価結果市町村受理日	平成23年2月10日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=0170501316&SCD=320
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成22年12月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・お一人お一人が「オンリーワン」という気持ちで、その方それぞれに合ったケアプランをいろいろな角度から見つめ、「生きたケアプラン」作りに取り組んでいます。
 ・笑顔とお互い同士の温かい思いやりが自然と出来ている優しいホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から一本奥に入った閑静な住宅地ではあるが、病院・飲食店・商店・バス停も近く、利便性が良い。2階建て1ユニットの事業所は随所にアイデアや工夫が活かされ、機能性に優れ温かみのある建物である。アイランド型のオープンキッチンは、利用者が台所作業に参加しやすいように配慮されており、カウンター形式のスタッフルームからは1階全体が見渡せる。浴室の床や玄関ホールは床暖房になっており、2階のラウンジは冷暖房付きである。管理者や職員は笑顔と優しさで、利用者と共に過ごす時間を大切にしており、家族の信頼も厚い。2ヶ月に1度定期的に開催されている、運営推進会議には家族代表・町内会福祉部長・地域包括支援センター職員・運営母体職員・エリアマネージャー・管理者等の参加があり、日常の様子・行事予定と報告・事故報告・地域との交流・防災計画等が話し合われ、議事録は次回の開催予定日を明記し利用者家族に送付している。近隣住民との交流も盛んで利用者の町内会行事の参加や、事業所主催の夏祭りやクリスマス会には近隣住民が参加し交流しており、近隣住民のボランティア訪問や、専門学校の実習生の受け入れ等も積極的に、地域と共に生活支援を実践している事業所である。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域との繋がりを大切にしながら一人ひとりが心豊かに又力を発揮出来る様な生活を理念に上げ、カンファレンスを通して再確認し、ケアにつなげています。	運営母体法人の『運営方針』と事業所の『グループホーム理念』『ケア理念』を掲示している。会議等で話し合いの場を持ち、ケアサービスに反映されているか確認している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭り、クリスマス会など、行事の際は地域の方にお声掛けしています。	町内会に加入している。利用者の状況に合わせ、新年会やふれあいサロン等の地域行事に参加している。また事業所の夏祭りには、地域の人々が多数参加し、交流している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の生活の中や町内会の行事への参加、運営推進会議を通して認知症の方への理解を時間をかけながら行っています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に1回の運営推進会議の中で日常生活の様子、行事活動、事故報告を行い、御家族、地域の代表の方、包括支援センター職員に参加して頂き意見や要望をお聞きし、カンファレンスを通してサービスの向上に努めています。	定期的開催している運営推進会議には、家族代表・町内会福祉部長・地域包括支援センター職員・運営法人代表等が出席し、行事予定と報告・事故報告・地域との交流・防災計画等が話し合われ、事業所の運営に効果を上げている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	管理者は札幌市や各区の連絡会議に出席し他の事業所との交流情報交換を行いながらサービスの向上に努めています。	管理者及び職員は市主催の研修会に出席し研鑽している。地域包括支援センター職員は、運営推進会議に出席し意見交換をしている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修に職員全員が参加して身体拘束に対する知識を深めています。又入居様の意志を尊重し一緒に外へ出る等の対応をしています。	日中玄関は施錠せず、鍵をかけない暮らしを実践している。身体拘束や虐待に関する勉強会をし、拘束のない自由な暮らしを実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内での虐待研修に参加し身体、言葉の虐待等を学びました。職員は自己研磨と専門性の向上に努め日々の申し送り時にも確認しあっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は制度の理解を深めながら、必要時には適切に活用支援出来るように努めています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に添いながら、1ページずつ説明させて頂き入居様や御家族様の疑問点や不安な点をお聞きしご理解頂けるように努めています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で言動や表情行動等から入居者の方それぞれの思いを感じ汲み取る様努めながら都度職員同士共有しケアプランに反映し運営推進会議にも参加して頂き思いを伝えて頂いています。	家族とのコミュニケーションを大切に、来訪時の会話の中から意見要望を聞き、運営に反映するよう努力している。事業所独自の家族アンケートの結果は運営に効果を上げている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	グループホーム事業室が中心となり月に1回管理者会議がありその場で意見交換情報交換を行いながら問題は都度迅速に解決しサービスの向上を目指しています。年2回自己申告書により職員の意見や提案を聞く機会があります。	管理者・全職員参加の定例会議が定期的に行われており、職員の意見等を聞く機会を設けている。さらに充実したケアサービスを提供するために、毎日申し送りを行なっている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己申告書があり職員個々の努力を述べる機会があり、面接も併せて行い向上心を持って働ける様努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修の参加をそれぞれの経験内容に合う物に参加し個々が自己研磨に努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年2回職員が交流する場を設けています。又互いに訪問し合う機会を作ったり複数の事業所が1つの行事に参加し交流を図ったり研修会ではグループワークを通じて職員同士親睦を深めてサービスの向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様に会う機会を作り、お話を聞きしたり、ご家族様からの情報を頂きながら、お気持ちを受け止められる様に努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	それまでの生活の中でご苦労された事、困っている事、不安な事等お話し頂けるよう、職員、エリアマネージャーとも相談しながら御家族が望んでいる事などを理解出来る様に努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急な対応が必要な相談者には柔軟に対処出来る様他の事業者のサービスを利用する事も含めた対応に努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方の生活の中で得られた知識を教える事で頂く事が多くあります。今ある力、知識を大切に、感謝と共に自信を持って頂けるよう声掛けをし、活性化に繋げていけるよう努めていきます。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の方も一緒に参加出来る行事を計画し訪問時には日々の様子をお伝えしています。また、変化のある時は連絡をさせて頂き、毎月ホーム通信を発行して御家族と入居者様のパイプ役になれるよう努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御家族や知人、友人の来訪時はリビングで過ごして頂いたり、ゆっくりお部屋で過ごしていただいています。電話でもお好きな時間に話して頂きながら関係が途切れないよう努めています。	家族を含め親族・知人の訪問もあり、継続的な交流ができるように支援している。ボランティアで訪問する地域の人とも馴染みの関係を構築し、手品・オカリナ・ダンス等の催しも楽しみとなっている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションやお手伝いを通して入居者様同士が協力し合ったり、アドバイスをしたり、優しく声を掛けて下さる場面が見られます。お茶会時はテーブルを囲み皆さんで楽しくお話をする時間があり、職員も一緒に関わりながら過ごすよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療施設に入院されても入居者様と一緒に お見舞いに行き、なじみの関係を継続 するよう努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の中で御本人の希望、意向を十分に把握し、それにそったケアに努めています。意志表示が難しい方は御本人の気持ちに立って表情や仕草の中から意向をくみ取るよう努めております。	家族から得た情報や、日頃の行動・表情・過去の生活歴を基に、思いや暮らし方の希望・意向をくみ取り、職員間で情報の共有をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族、御本人からアセスメント情報を集めたり、日々のお話の中から生活歴、環境などを探りケアに役立てています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に入居者様の所在を確認し、心身の状態の変化を把握すると共に、職員全体で情報を共有し、申し送り、カンファレンスに活かすよう努めております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	三ヶ月後と半年後の評価とモニタリングを職員全員で行い、ケアの在り方を話し合っています。御本人、家族様の要望を聞きながら入居者様がその方らしい生活が出来るようお手伝い出来るケアプランを作成しています。	日頃の関わりの中から得た情報を基に、カンファレンスや情報交換で協議を重ね、本人や家族の意見を反映させた介護計画を作成している。変化があった場合は、随時見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアの気付きや工夫の実践は情報共有し、実践し、結果をカンファレンスや日々のケア介護計画の見直しに活かしています。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自身の代行、買い物の代行など柔軟な支援をしています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所の方や町内会などの交流を図る事で催し物や、活動に積極的に参加出来るよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回の主治医の訪問診療により馴染みの関係も出来ており、個人の思いも対応しています。緊急時の24時間対応も出来ています。	利用者希望のかかりつけ医を受診している。協力病院医師による往診や、通院は随時行われている。また病状に合わせた医療機関を受診できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護で、入居者様の健康状態の報告、相談を行っています。24時間体制で対応し、医師や他の医療関係とのパイプ役となっただいただいでいます。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療関係の相談員と連携しながら御家族様からの情報や御本人との面会を行い、早期退院に向け、話し合いを行っています。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御本人、御家族の意向を把握し出来る限りの支援を御家族の協力を得ながら取り組んでいます。	『重度化した場合における対応に係る指針』を作成し、入居時から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを説明している。運営母体が医療法人なので安心感が高い。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日々の緊急時のマニュアルなどの熟読と内外の実践研修などで身につけています。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の応援態勢は整っています。避難訓練も年二回定期的に行い、地域の方の協力体制も築いています。	消防署の協力のもと年2回、利用者や地域の人達と共に避難訓練を行っている。防災には細心の注意を払い、火災通報装置・火災受信機・スプリンクラーが設置されており、非常用食品も備蓄している。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	申し送り場所などは選び、プライバシーは守るよう努めています。人生の先輩に対する尊敬の念を持って日々のケアにあたっております。	言葉使いや行動に注意しながら、利用者一人ひとりの誇りや尊厳を大切にしている。書類などの個人情報事務所で適切に管理している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人が全て決定して、思いや希望も表現出来るような場面作り、また、一緒に考えたりサインを見逃さないように、努めております。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、入浴、レクリエーションなど、お一人お一人のペース、体調、思いを確認して支援しています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服選び、身支度は御本人が自由に選び、一緒に買い物に行ったり、御家族の協力を得ながら支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間が楽しみになるように好みや食べやすいよう工夫したり、準備や後かたづけを入居者様と一緒にしております。	利用者は食事の準備や配膳・後片付け等に参加している。全員が食卓に着き会話を楽しみながら食事をしている。個々の嚥下状況に合わせた食事を提供している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の生活習慣の上に栄養バランスと水分量が十分に摂取出来るよう支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの充実の為に日々の歯磨き、義歯のケアを支援しています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンや、習慣を考慮してトイレでの排泄や自立に向けて支援しています。	しぐさや習慣から個々の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導をしている。4ヶ所あるトイレは広く清潔である。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状況の把握と運動や十分な水分量、食事の工夫など予防に取り組んでいます。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様がリラックスして頂けるよう、お一人お一人の希望や思いに沿って支援しています。	利用者の希望や体調に合わせて、毎日でも入浴できるように支援している。浴槽は2方向からの介助ができ、浴室は床暖房になっており、快適に入浴できるように配慮している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の体調、習慣を元に安心して休んで頂けるよう、努めています。入床、起床の無理強いをせず、夜間ぐっすり眠る事が出来るよう、日中の活動を通して生活リズムが整うよう配慮しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬について、知識を深め、服薬の支援と表情の変化に注意して、観察に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人お一人の楽しみ、喜びを把握し毎日の暮らしの中に活かした役割を生活歴の中から見いだせるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周辺を散歩したり、玄関や花壇のお花を見たりして気分転換をして頂いています。外出希望時には見守り、同行し安全に出かけられるよう支援しています。	心身の活性化につながるよう、日常的に近隣散策や買い物に出掛けており、外食やお花見等の行事外出も積極的にし、地域での生活が体感できる支援をしている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	近所のスーパーなどでご自分の食べたい物や化粧品などを選んで購入して頂いています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望時はいつでも利用して頂いています。ご自分で出来ない方には職員が取り次ぎをお手伝いしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビや音楽の音量は皆様と相談したり様子を見ながら調整しています。季節の花で季節感を出し、居心地の良い空間作りに努めています。	リビングは日当たりが良く、ガーデニング仕様の庭を眺めることができる。玄関の人の出入りも身近に感じられ、一般家庭の居間の雰囲気がある。2階ラウンジは夏の日差しに配慮し、冷房を備えており、書籍やソファが置かれ静かに寛ぐことができる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間にはテーブルやソファがあり、それぞれにくつろいで過ごせるようになっております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具やテレビ、写真や人形、飾り物など それぞれに持ち込まれ安心して過ごして頂けるよう、配慮しています。	居室には使い慣れた家具やベット・テレビ等が置かれ、家族写真や思い出の品が飾られ、清掃もいき届き居心地良く過ごせるよう配慮されている。カーテン・のれんは防災加工済みである。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	得意分野、残された力を活かしていけるよう、職員一同心がけています。廊下やトイレお風呂、階段など手すりを設置し、一人での移動が安全に出来るよう配慮しています。		